

継続事業 **タイ** 理数系(STEM*)教育を通じたリーダーシップ育成事業(第2期)

— 企業と連携して、子どもたちの学業および職業機会を拓ける —



活動地域: アユタヤ県、ラヨーン県およびサムットプラカーン県
 事業期間: 第1期2017年4月～2020年3月(3年間)、第2期2020年4月～2023年3月(3年間)
 事業規模: 当年度支出額3,288千円(総事業規模: 30,000千円)
 主な支援者: 日産自動車株式会社

*「STEM(ステム)」とは、Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学)、Mathematics(数学)の頭文字をとった言葉。

16 校
 支援の対象となる学校数

487 人
 リーダーシップ&STEMキャンプに参加した生徒数(うち女子298人、男子189人)

75 人
 同キャンプに参加した教員の数(うち女性63人、男性12人)



課題

タイ政府は、今後の経済社会の発展に向け産業人材の育成を課題とし、特に、高校進学において職業教育課程に進む生徒数の増加を促進するとともに、中学・高校における職業活動を積極的に推進しています。一方、多くの学校では、十分な予算がなく、職業活動に関する知識や技術を有する教師も不足していることから、これらの実現が困難な状況です。とりわけ、カンボジア等からの移民の子どもたちの学習環境は厳しく、中学・高校を卒業した後の職業選択も極めて限定され、貧困に陥りやすいことが指摘されています。中学・高校在学中に、社会人として必要なリーダーシップやマーケティングスキル、そしてライフスキルなどを身につける機会が求められています。

活動内容

昨年度の活動の6割近くを持ち越す形で始まった本年度も、引き続き、新型コロナウイルス感染拡大のたびに学校が短・中期にわたり閉鎖され、課外活動の延期またはオンラインへの切り替え等、大きな制約の中での活動となりました。昨年来の試行錯誤を経て、オンライン形式での活動を主流としつつも、対面方式とのハイブリットでの実施を試みるなど、事業の最適化を進めました。具体的には、リーダーシップ&STEMキャンプを対面で1回、オンラインで12回実施。グループワークや環境教育を取り入れ、生徒は学びを深めることができました。また、小規模ビジネスグループ活動では、ラヨーン県の1校が、タイで優れた教育活動を行う学校に授与される「Royal School Award」を受賞。さらに、アユタヤの1校は、パン・菓子の製造と販売活動における生徒と教師の熱心な取り組みが評価され、地元企業から支援金を得て、製造に必要な機材を調達し工房を建設することができました。一方で、第2期で新たに支援対象となった7校において、小規模ビジネスグループの形成と実践活動が大幅に遅れています。

受益者の声



リーダーシップ研修に参加した生徒の一人は、「研修に参加して、限られた時間の中で、みんなで力を合わせて課題解決方法を導くのは難しかったです。チームで成し遂げる大切さを学びました。またオンラインでも、このように全員が参加できる方法があることを知れて、よかったです」と語ってくれました。教師の観察によると、内向的な性格で普段教室では発言することのなかった生徒でもオンラインでは発言の頻度があがることが認められています。またLINEグループを作り、事業の現地スタッフと教師・生徒とがいつでも活動について質疑応答ができる体制を作ったことで、生徒からの声があがりやすくなったとの報告もあり、オンライン化によって誰でも意見や声をあげやすくなったと示唆されます。